

平成28年4月19日

～吉野線を紅葉や季節の花で華やかに彩る～

「吉野線 華（はな）いっぱい計画」を推進しています

近鉄では、本年9月10日（土）より南大阪線・吉野線観光特急「青の交響曲（シンフォニー）」の運行を計画しています。これにあわせて新たな観光資源を創出するため、吉野線を紅葉や季節の花で華やかに彩る「吉野線 華（はな）いっぱい計画」を推進しています。

地元自治体の植樹等の取り組みと連携して沿線の景観整備を図り、鉄道での旅の楽しみとおもてなしを提供したいと考えています。詳細は以下のとおりです。

1. 「吉野線 華（はな）いっぱい計画」

吉野線の吉野駅～飛鳥駅間において、モミジ・アジサイ等の植樹を進めています。

第一期として、合計約1万本の樹木等を植樹しました。特に福神駅から薬水駅の間は、約1 kmに亘ってモミジ570本を集中的に植樹し、新たな名所化を目指します。

（第一期の主な植樹）

場所	主な樹木等 ()内は本数
吉野駅	ユキヤナギ(390)、オタフクナンテン(100)
大和上市駅	ドウダンツツジ(870)
下市口駅	ドウダンツツジ(270)、モミジ(18)
福神駅	モミジ(210)、アジサイ(2,190)、サクラ(19)
福神駅～薬水駅間	モミジ(360)
壺阪山駅	アジサイ(1,360)、ユキヤナギ(910)
飛鳥駅	ビヨウヤナギ(1,710)、ヒガンバナ(750)、スイセン(750)

2. 地元の取り組み

吉野町では、吉野山の桜を守る活動として募金や植樹等に組み入れているほか、吉野山観光協会を中心にアジサイを約4千株植樹し、毎年6月中旬～7月初旬に「あじさいまつり」を開催しています。

○吉野町長 北岡 篤様のコメント

「観光特急の運行は改めて吉野地域に注目が集まる絶好の機会と考えており、近鉄の取り組みと連携して、四季折々の風情をみせる吉野の自然を観光資産として一層充実させていきたいと考えています。」



ユキヤナギの植樹（吉野駅）



モミジの植樹（福神駅）